

最先端の「FUJINON レンズ」の光学技術を結集し、プロジェクター市場に新規参入  
世界初<sup>※1</sup>の「屈曲型二軸回転機構レンズ」を搭載！これまで設置できなかった場所でも大画面投写ができる超短焦点プロジェクター

## 「FUJIFILM PROJECTOR Z5000」

75cmの至近距離から 100 インチの迫力ある映像を実現、クラス最高<sup>※2</sup>のレンズシフト機能も装備

### ● 新発売 ●

2019年2月13日

富士フイルム株式会社(社長:助野 健児)は、世界初<sup>※1</sup>の「屈曲型二軸回転機構レンズ」を搭載し、本体を動かさずにレンズの回転だけでさまざまな方向へ投写できる超短焦点プロジェクター「FUJIFILM PROJECTOR Z5000」(以下、「FP-Z5000」)を2019年4月より発売します。「FP-Z5000」は、スペースの制約でこれまで置くことができなかった場所でも簡単に設置でき、従来投写できなかった方向にも迫力のある映像を映し出すことができる画期的なプロジェクターです。

当社は、本製品の発売を機にプロジェクター市場へ新規参入し、さらなる事業拡大を図っていきます。

プロジェクターは、シネマやオフィス、文教など幅広い分野で使用されています。さらに最近では、商業施設のデジタルサイネージをはじめ、企業のショールームにおける製品PRや、美術館・博物館での作品演出などの用途でもプロジェクターの利用機会が増えており、「限られたスペースで効果的に宣伝を行いたい」「天井や床などを活用して空間を演出したい」といったニーズが高まっています。

今回発売する「FP-Z5000」の主な特長は以下の通りです。

- ・最先端の「FUJINON レンズ」の光学技術を活かして開発した、世界初の「屈曲型二軸回転機構レンズ」を搭載。レンズを上・下・前・後・左・右の向きに切り替えることで、本体を動かさずにさまざまな方向へ投写することが可能。壁やスクリーンのみならず、天井や床などにも映像を映し出すことができるほか、映像の向きを縦・横自在に切り替えることもできます。
- ・超短焦点レンズにより、わずか 75cm の至近距離から 100 インチの迫力のある大画面映像を映し出します。
- ・クラス最高<sup>※2</sup>となる上下 82%・左右 35%のレンズシフト機能<sup>※3</sup>を備えているため、広い範囲で映像の位置を簡単に調整することができます。
- ・高度な光学設計のノウハウを活かした大口径球面・非球面レンズと、耐久性に優れたレーザー光源を採用。映像周辺部まで歪みや収差を抑制し、明るく美しい映像を安定的に映し出します。



「FP-Z5000」縦置き時



「FP-Z5000」横置き時

※1 2019年2月13日時点。当社調べ。

※2 2019年2月13日時点。5000lm(ルーメン)以上の高輝度プロジェクターにおいて。当社調べ。

※3 プロジェクター本体の位置やレンズの向きを変えることなく、映像の位置を上下・左右の方向に調整できる機能。レンズシフト機能が起動していない状態で映し出された横長映像の縦・横の長さを基準として、映像を上下・左右に移動できる範囲を%で表す。

富士フィルムは、放送用レンズやシネマ用レンズなどの各種レンズのみならず、OA 機器用光学系やプロジェクター用光学系などの産業用光学デバイスの研究開発・製造・販売に取り組んでいます。また、これまで幅広いレンズ製品の開発で培ってきた高度な光学技術と、デジタルカメラ「X シリーズ」などの開発で培ってきた最先端の画像処理技術を活用し、レンズ一体型の遠望監視用カメラ「FUJIFILM SX800」を開発するなど、事業領域の拡大を進めています。今後も、多様な市場ニーズに応える画期的な製品を開発し続けることで、さらなる事業成長を図っていきます。

記

1. 製品名、発売時期、価格

製品名	発売時期	価格
プロジェクター「FUJIFILM PROJECTOR Z5000」	2019 年 4 月	オープン価格

2. 製品特長

(1) 「屈曲型二軸回転機構レンズ」を採用

- ・最先端の「FUJINON レンズ」の光学技術を活かして開発した「屈曲型二軸回転機構レンズ」により、レンズを上・下・前・後・左・右の向きに切り替えることができ、本体を動かさずにさまざまな方向へ投写することが可能。壁やスクリーンのみならず、天井や床などにも映像を映し出すことができます。
- ・レンズの回転だけで映像の向きを縦と横に切り替え可能。迫力のある縦長映像を映し出す「ポートレート投写」も簡単に行えます。

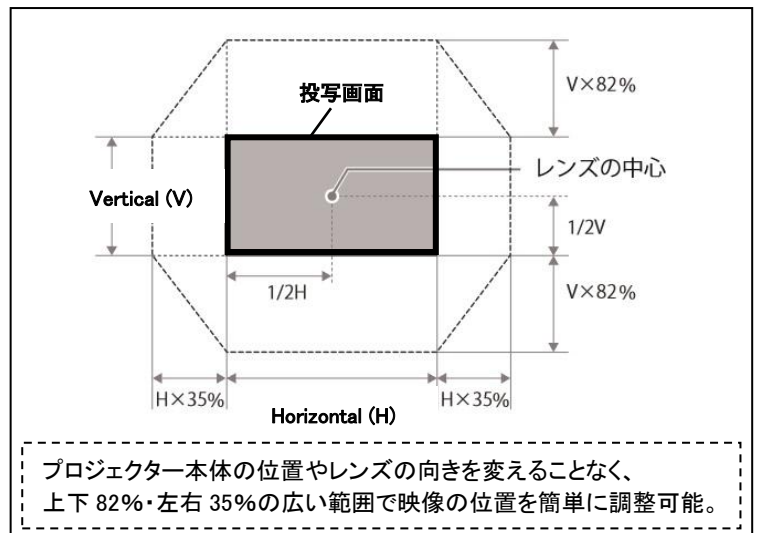


(2) 75cm の至近距離から 100 インチの大画面映像の投写が可能

- ・超短焦点レンズにより、わずか 75cm の至近距離から 100 インチの迫力のある大画面映像を映し出します。プロジェクター本体と投写面の間に生じるデッドスペースを大幅に削減できるため、空間を最大限に活用した演出が可能です。

(3) 上下 82%・左右 35%のレンズシフト機能を搭載

- ・大口径レンズの広いイメージサークルを活かし、上下 82%・左右 35%のレンズシフト機能を実現。プロジェクター本体の位置やレンズの向きを変えずに、広い範囲で映像の位置を簡単に調整することができます。



(4) 映像周辺部まで歪みや収差を抑制し、明るく美しい映像を安定的に実現

- ・これまで培ってきた光学設計のノウハウを活かした大口径球面・非球面レンズにより、短焦点レンズで顕著に現れる映像周辺部の歪みや、レンズシフト時に生じる収差を徹底的に抑制。美しい映像を実現します。
- ・耐久性に優れたレーザー光源を搭載しているため、5000lm の明るい映像を安定的に映し出すことが可能。メンテナンスにかかる手間やコストを軽減します。

### (5) 高い利便性と、クラス最小の小型ボディを実現

- ・縦置き<sup>※4</sup>、横置きの両方に対応しているため、利用環境に合わせて設置方法を選択できます。
- ・クラス最小<sup>※2</sup>となる厚さ 108mm の小型ボディを実現。レンズ収納時にレンズとプロジェクター本体が直方体に収まるコンパクト設計も採用し、持ち運び時の負担を軽減します。
- ・丸みを帯びた美しいフォルムによるスタイリッシュな外観で、洗練されたデザインを追求しました。

※4 転倒防止のスタンド(標準オプション)を取り付ける必要があります。



スタイリッシュで美しく、  
コンパクトなボディデザイン

### 3. 主な仕様

型名	FP-Z5000	
DLPチップ	サイズ	0.65型 アスペクト比16:9
	表示方式	1チップDLP方式
	画素数	2,073,600画素 (1920×1080)
レンズ	タイプ	屈曲型二軸回転式レンズ
	レンズシフト	電動 : V±82% H±35%
	ズーム	電動 : x1.0~x1.1
	フォーカス	電動
	投写比 [TR値 <sup>※5</sup> ]	0.34 (Wide側) ~0.37 (Tele側)
	焦点距離	f=5.0mm (Wide側) ~5.5mm (Tele側)
	Fナンバー	F2.4 (Wide側) ~F2.49 (Tele側)
光源	レーザーダイオード	
明るさ	5,000lm	
コントラスト比	12,000:1	
投写画像サイズ	70型~300型 約0.5m~2.3m	
音声出力	10W×1	
走査周波数	水平	15K~102KHz
	垂直	23K~120Hz
最大表示解像度(横×縦)	1920×1080	
入出力端子	HDMI	3系統
	RJ-45	1系統
	USB (DC5V出力)	1系統 TypeA
仕様環境	動作温度	0~40℃ (ただし、結露しないこと)
	保存温度	-10~50℃ (ただし、結露しないこと)
電源	AC100V~240V 50/60Hz	
最大消費電力	700W	
消費電力(スタンバイ時)	0.5W	
外形寸法	[幅]470mm x [奥行き]375mm x [高さ]108mm (レンズ収納時、突起部除く)	
質量	約12kg	
付属品	リモコン、単4型乾電池 (2個)、レンズキャップ、 HDMIケーブル (1.8m)、電源ケーブル (3.0m)、 縦設置用スタンド (2個)、簡易説明書	

※5 「TR(Throw Ratio スローレシオ)」はスクリーン横サイズ/投写距離を表した値です。

本件に関するお問い合わせは、下記にお願いいたします。

報道関係

コーポレートコミュニケーション部 TEL:03-6271-2000

お客さま

[https://biz.fujifilm.jp/projector\\_contact\\_ja.html](https://biz.fujifilm.jp/projector_contact_ja.html) よりお問い合わせください。

富士フイルムウェブサイト <https://fujifilm.jp/>